



Newsletter No.17

The Japanese Association for English Studies

日本英語文化学会

「会報」通巻 第17号 発行日：2023年11月10日

(1) 会長挨拶

共に学び、さらなる成長を目指して

会員の皆様には、いつも温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この4月から23-24年度任期の役員体制が始動し、学会運営の随所で新たな試みや改善に向けた工夫が実践され、本会が日々少しずつ、確かに前進し続けていることを嬉しく感じています。

本会では、昨年3年ぶりに全国大会の対面開催が実現しましたが、お陰様で今年もまた無事に対面で実施することができ、私たちの学会が本来あるべき形に戻ってきたことへの有り難さを噛みしめております。

記録的猛暑がまだまだ続いていた9月1日(金)、十文字学園女子大学(埼玉県新座市)において第26回全国大会が開催されました。5つの発表セッション(研究発表I~V)がそれぞれ2会場に分かれて実施され、英語教育、英米文学、英語学、言語学、社会言語学等に関わるさまざまなテーマのもと、多様で複合的なアプローチで取り組まれた研究の成果が発信され、各会場で有意義な議論が交わされました。プログラムの詳細は、下記の「(2)全国大会報告」でご確認いただけたらと思います。

また、今年の全国大会では学会として正式に懇親会の機会を設けることができ、発表セッションの時間内で収まらなかった議論を続けたり、会員・賛助会員間の親交を深めたりすることができたのも、本大会の大きな収穫の一部であったと感じています。

本大会を開催するにあたり、会場校責任者の落合真裕理事には、準備段階から当日の会場運営に至るまで多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。また、当日参加して下さった会員・賛助会員の皆様、研究発表をして下さった会員の皆様、大会運営委員の皆様にも

深謝いたします。

最後に、これからも、日本英語文化学会の会員の一人として皆様と共に学び、成長していけることを楽しみにしております。

日本英語文化学会会長
中井延美

(2) 全国大会報告

日本英語文化学会第26回全国大会 (The 26th National Conference of the Japanese Association for English Studies)

開催日：2023年9月1日(金) 11:00~16:50

会場：十文字学園女子大学(〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28) 9号館3階 9301・9302教室

プログラム

開会式 11:00 (9301教室)

総合司会 佐々木 隆(武蔵野学院大学)

開会のことば

会長挨拶 中井延美(明海大学)

研究発表I 11:15~11:50

(第1発表会場) (9301教室)

タイトル：「翻訳語としての三人称代名詞のこれらを考える」

発表者：錦織 裕之(大妻女子大学)

司会：須永 隆広(駿河台大学)

(第2発表会場) (9302教室)

タイトル：「〈中国語の部屋〉と〈英語の部屋〉：AIの発展から英語教育のあるべき姿を考える」

発表者：上野 俊一(日本大学)

司会：佐々木 隆(武蔵野学院大学)

研究発表II 13:00~13:35

(第1発表会場) (9301教室)

タイトル：「日英語名詞句の形式特性について」

発表者：中井 延美(明海大学)

司会：水野 晶子(拓殖大学)

(第2発表会場) (9302教室)

タイトル：「『鳩の翼』を構成する時間」

発表者：川口 淑子(愛知文教大学)

司会：大野 直美(東洋大学)

研究発表III 13:40~14:15

(第1発表会場) (9301教室)

タイトル：「移動の上方制限について」

発表者：岩崎 宏之(宇都宮大学)

司会：水野 晶子(拓殖大学)

研究発表Ⅳ 14:20～14:55

(第1発表会場) (9301 教室)

タイトル:「日本語の受動表現「-(r)are」についての一考察」

発表者: 三幣 友行 (東京都市大学)

司会: 中井 延美 (明海大学)

(第2発表会場) (9302 教室)

タイトル:「病名や症状名と冠詞に関する一考察」

発表者: 小山田 幸永 (東京都立大学)

司会: 野上 文子 (獨協大学)

研究発表Ⅴ 15:00～15:35

(第1発表会場) (9301 教室)

タイトル: The indexicality of Japanese-accented English: L1 and L2 English speakers' perceptions

発表者: Yutai Watanabe (Hosei University)

司会: Nobumi Nakai (Meikai University)

(第2発表会場) (9302 教室)

タイトル:「CLIL 教育とグローバル学習ループリックにおける一考察」

発表者: 高橋 強 (東海大学)

司会: 野上 文子 (獨協大学)

総会 15:40～16:30

司会: 中井延美 (明海大学)、渡辺宥泰 (法政大学)、三幣友行 (東京都市大学)

閉会式 16:30～16:35

閉会のことば 副会長 渡辺宥泰 (法政大学)

写真撮影 16:35～16:50

懇親会 17:10～ (十文字学園女子大学 7号館 1階カフェテリア)

(3) 月例会報告

第153回6月例会

日時: 2023年6月10日(土)

会場: 昭和女子大学 8号館西棟 5S42 教室 (予備: 5S43 教室)

研究発表

第1発表 16:00～16:40

タイトル:「工学教育における英語論文読解指導法の検討」

発表者: 今滝暢子 (日本大学)

司会: 小野雅子 (明海大学)

第2発表 16:45～17:25

タイトル:「パーシング『禅とオートバイ修理技術—価値の探求』—実験小説におけるプラグマティズ

ム」

発表者: 上野俊一 (日本大学)

司会: 本間章郎 (駒澤大学)

第3発表 17:30～18:10

タイトル:「哀歌の呪文——ポーの『アッシャー家の崩壊』に響く音楽の物語効果」

発表者: 河野智子 (神奈川工科大学)

司会: 大木富 (神奈川工科大学)

第152回3月例会

日時: 2023年3月11日(土)

会場: 昭和女子大学 8号館西棟 2S41 教室 (予備: 2S42 教室)

研究発表

第1発表 16:00～16:40

タイトル:「英語における特殊な一致現象: 岩崎(2023)を起点に」

発表者: 岩崎宏之 (宇都宮大学)

司会: 中井延美 (明海大学)

第2発表 17:00～17:40

タイトル: The indexicality of slogans on local souvenirs

発表者: Yutai Watanabe (Hosei University)

司会: Akiko Mizuno (Takushoku University)

(4) 理事会・総会関連事項

日本英語文化学会 第26回全国大会 総会 審議・報告事項 2023年9月1日(金)

【審議事項】

来年の全国大会について (日本大学 都内のキャンパスを検討中) 2024年8月30日(金) または、2024年9月6日(金) (川嶋先生より)

【報告事項】 (案内・確認を含む)

A. 12月例会について (事務局長 三幣理事)

(1) 12月9日(土) または、16日(土) 会場未定

(2) 役員会は、例会の前日または前々日夜にオンライン開催

(3) 発表者の募集: 9月2日～10月31日

B. 会計報告 (会計/事務局 高橋理事)

(1) 決算報告 (2) 会費納入状況 (3) 会費納入のお願い

C. 『異文化の諸相』について (学会誌編集長 岩崎理事) 10月4日投稿締め切り

D. J-STAGE について (日中理事の代理で渡辺副会長より) アクセス状況等に関して

E. HP 管理外部委託の検討について (原理事の代

理で渡辺副会長より)

F. 「会報」について (会報編集長: 河野理事/会報編集補佐: 大木理事)

日本英語文化学会「会報」(Newsletter)の掲載内容の変更

G. 「英語文化エッセイ」について (英語文化エッセイ編集長: 清水理事)

「英語文化エッセイ」の創刊

(5) 会員の最新刊案内

本学会員による最新刊書を下記の通りご案内します。学会員で研究書等を出版された方は編集部までお知らせください。なお、著者名のうち、下線明記が学会員で、共著者は学会員のみを掲載しております。

『食文化からイギリスを知るための55章』

石原孝哉、市川仁、宇野毅 (編著) 共著者: 佐々木 隆、白鳥義博、高野秀夫、ほか、明石書店

(2023年1月10日) ISBN 9784-750355122.

(内容紹介)

本書は、明石書店から「世界の国と人を知るための知的ガイド」シリーズとして刊行されている「エリア・スタディーズ」の第191巻目にあたり、「食卓の文化史」、「外国料理天国イギリス」、「食材の文化史」、「イギリスの食習慣」、「本当はおいしいイギリス料理」、「飲み物の文化史」、「文学に見る料理」の全7部から成る。一般にドイツ料理と双璧をなして、イギリス料理も「まずい」と言われるが、本書は、そのような一般的先入観を単に払拭しようとするものではなく、それを切り口として逆手にとり、食というものに焦点を当てて、文学を含めた、文化、社会、歴史等の総合的・多角的視点から、イギリスの文化・国民性の本流を浮き彫りにしている。

(6) お知らせ

第26回全国大会総会でも報告があったように日本英語文化学会「会報」(Newsletter)内のエッセイは、「英語文化エッセイ」として独立することとなりました。従いまして、Newsletterは、2023年度より広報中心(予告、報告、連絡など)に変わります。なお、新「会報」Newsletterの編集長は河野智子、編集補佐は大木富、「英語文化エッセイ」編集長は清水純子、編集補佐は松山博樹です。

(7) 機関誌等に関して

I) 「英語文化エッセイ」お知らせ

文学、文化、言語学、英語教育の各専門分野に関する〈研究ノート〉、〈書評〉、〈その他〉の投稿を幅広く求めています。

『英語文化エッセイ』投稿規定)

和文2,000字、欧文800語程度。A4用紙、Word標準設定。

応募方法: メール (Word形式の添付ファイル)、また「メモ帳」等でテキストファイルに変換した原稿も添付してください。

応募締切: 2023年9月30日

なお、掲載の採否、及びコラム等のレイアウトは編集部にご一任願います。

応募先: 日本英語文化学会『英語文化エッセイ』編集部編集長 清水純子

〒181-0005 東京都三鷹市中原2-25-25 / Tel: 0422-41-0029 / e-mail: jesse@jcom.zaq.ne.jp

II.) 『異文化の諸相』投稿募集のお知らせ

2024年2月発行予定の『異文化の諸相』第44号の原稿提出締切日は2023年10月4日です。投稿を希望される方は学会ホームページの『異文化の諸相』投稿規定(2023年6月8日改訂)をよくお読みください。

原稿提出先: 日本英語文化学会学会誌編集委員長
jsce.submission@gmail.com

「編集: 日本英語文化学会/ 編集部: 河野智子 大木富 / 発行人: 中井延美

発行所: 〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目 明海大学 管理研究棟 1718 中井延美研究室 日本英語文化学会 e-mail: nnakai@meikai.ac.jp